

「施策」総括票

施策展開	2-(1)-イ	「スポーツアイランド沖縄」の形成	
施策	③スポーツ・レクリエーション環境の整備		83頁
対応する 主な課題	○県民のスポーツに触れる(観る、参加する)の創出のため、スポーツコンベンションの誘致が必要である。 ○生涯スポーツ・競技スポーツの振興及びスポーツコンベンションを推進するため、様々な機能を有したスポーツ・レクリエーション環境の整備、各種スポーツコンベンションに対応した施設の充実を図る必要がある。		
関係部等	文化観光スポーツ部、土木建築部		

I 主な取組の推進状況 (Plan・Do)

(単位:千円)

平成24年度				
主な取組		決算見込額	推進状況	活動概要
○社会体育施設の整備				
1	社会体育施設管理運営費	187,000	順調	○公の体育施設の管理運営を、指定管理者へ委託し、施設の適正な管理運営を合理的かつ効果的に行っている。(1)
2	ボート管理運営費	950	順調	
○スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実				
3	都市基幹公園等の整備	1,721,677	やや遅れ	○スポーツ・レクリエーション活動として利用できる場を形成するため、園路、広場等の整備を行った。用地取得が計画通りに進んでおらず、やや遅れとなっている。(3)

様式2(施策)

○スポーツコンベンション施設の整備					
4	Jリーグ規格スタジアム整備事業	5,477	順調	○沖縄に適したサッカースタジアムを整備する基本的な考え方を整理する事業を実施した。(4)	
5	沖縄スポーツアイランド拠点会館(仮称)整備事業	10,012	順調	○沖縄スポーツアイランド拠点会館(仮称)の必要性和基本的な考え方等について調査し、3月に基本計画を策定した。(5)	
6	沖縄県総合運動公園プロサッカースタジアム事業	7,182	やや遅れ	○陸上競技場改修のための基本設計を行った。関係者間のすり合わせに時間を要し、実施設計は平成25年度に繰越となったため、やや遅れとなっている。(6)	

II 成果指標の達成状況 (Do)

(1) 成果指標

1	成果指標名		基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
	スポーツ・コンベンションの県内参加者数		66,739人 (22年)	65,324人 (23年)	77,000人	△1,415人	—
状況説明	現状値が基準値を下回っている主な要因として、スポーツイベントの県内参加者数が減っていることが挙げられるが、スポーツ・ツーリズムの理解を深めるため、市町村、スポーツ団体等を対象にセミナーを開催し、意識啓発を行うことにより、県内の参加者の増加が図られるように努める。						
2	成果指標名		基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
	運動等の目的で利用できる都市公園(運動公園、総合公園等)の面積(1人あたり)		6.0㎡ (22年度)	6.0㎡ (23年度)	6.5㎡	—	4.1㎡ (23年度)
状況説明	公園事業の事業進捗を図るため、公園事業用地の早期取得に努め、事業を推進しているところであるが、地権者等の協力が得られないことや、人口増加に伴う社会情勢の変化等による影響もあり、成果指標としては、基準値と同値となった。						

様式2(施策)

成果指標名		基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
3	県立社会体育施設の平均稼働率並びに利用者数(奥武山総合運動場のみ)	平均稼働率:68% 利用者数: 472,461人 (23年)	平均稼働率:71.4% 利用者数: 532,735人 (24年)	平均稼働率:70% 利用者数: 575,000人	平均稼働率: 3.4ポイント 利用者数: 60,274人	—
	状況説明	稼働率及び利用人数の増加については、会議室等の利用を会議だけでなく、文化教室での使用等、活用用途を拡大した効果により上昇している。				
成果指標名		基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
4	陸上競技場(プロサッカー対応可能)年間利用者数	17万4千人 (22・23年)	16万6千人 (24年)	22万5千人	△8千人	—
	状況説明	現状値が基準値を下回っている主な要因は、開催された大会数や入場者数の減少によるものである。今後の取組により、J2基準のホームスタジアムが完成し、J2公式戦が開催されるようになれば、平成28年の目標は達成可能と考える。				

(2)参考データ

参考データ名	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—

Ⅲ 内部要因の分析 (Check)

<p>○社会体育施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の管理について、修繕等による施設の閉館(県立武道館、ライフル射撃場)が予定されている。 ・老朽化などにより施設等に不具合が生じた場合に予算の都合上すぐに対応できない。 <p>○スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地権者等の協力が得られていないことにより、用地取得や物件補償等が計画どおりに進捗しておらず、効率的かつ効果的な整備ができない状況である。 <p>○スポーツコンベンション施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県総合運動公園プロサッカースタジアム事業は、平成24年度に基本設計及び実施設計の実施を予定していたが、Jリーグ協会の認定基準と沖縄陸上競技協会からの要望等のすり合わせに時間を要することとなり、実施設計は平成25年度に繰り越すこととなった。
--

IV 外部環境の分析 (Check)

○社会体育施設の整備

・施設の管理について、台風等の自然災害による予期しない施設の損傷が想定される。

○スポーツコンベンション施設の整備

・那覇市においてもJリーグ1部(J1)の公式試合ができるサッカースタジアムの整備を表明していることから、県として調整を行う必要がある。

V 施策の推進戦略案 (Action)

○社会体育施設の整備

・修繕等による施設の閉館により、施設が利用できなくなるため、施設利用者には予め、年間調整会議等で周知し、利用等に支障がないよう対応する。
・施設の新設や改修等の整備は多額の費用と長期の時間を要することから、施設整備予算の平準化や施設の適正な管理を行い、不測の事態にも対応できるよう配慮しつつ、計画的に整備を行っていく。

○スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実

・予算確保に努めるとともに、引き続き、公園用地取得に向け、地権者、所有者等の協力が得られるよう粘り強く交渉を続け、地元自治会や関係者等の協力を得ながら事業を推進する。また、不測の事態にも対応できるよう配慮し計画的な整備を行っていくとともに、整備効果を早期に発現させるため、部分的な供用も含めて都市公園利用面積拡大に努めていく。

○スポーツコンベンション施設の整備

・Jリーグ及び沖縄陸上競技協会等と綿密に調整を行い、実施設計を円滑に進捗させ、早期に大規模な基礎工事を要するバックスタンドや夜間照明灯の工事着手へとつなげ、平成26年度末の完成を目指す。
・Jリーグ1部(J1)公式試合ができるサッカースタジアムの整備については、那覇市と県の役割分担を踏まえ、沖縄県全体のスポーツ及び観光振興に寄与する施設をいかに整備していくかとの観点から調整する。